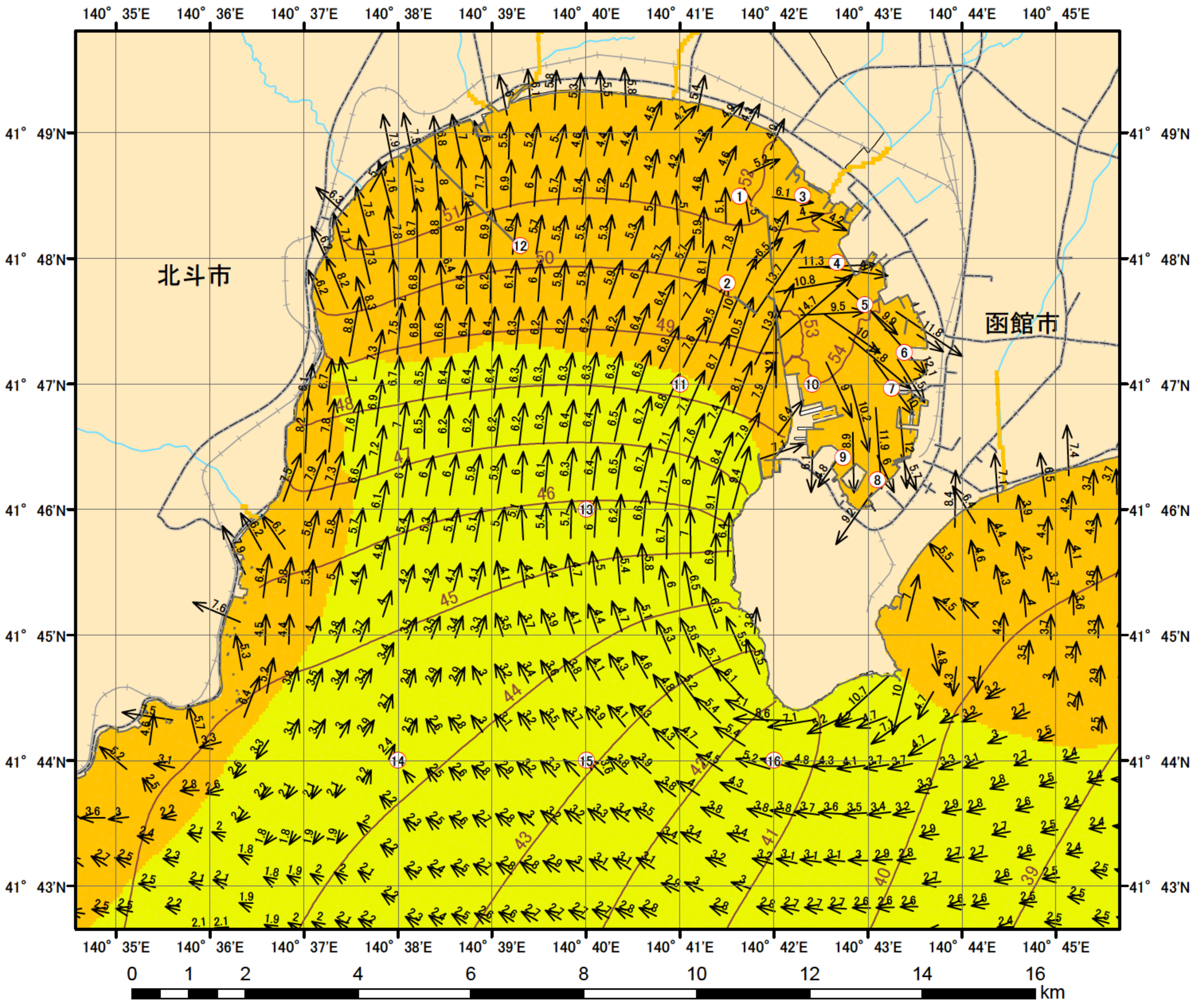
函館港 津波防災情報図（進入図）
日本海溝(三陸・日高沖)地震

計算条件	：	最高水面（零位）
隆起量	：	平均 -69cm(-82 ～ -55cm)
Zo	：	0.57m
備考	：	本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものと異なることがある。

座標系：メルカトル図法
測地系：世界測地系（WGS84）



凡例

最大水位上昇

- 5m以上
- 3～5m
- 2～3m
- 0.5～2m
- 0.5未満

水位上昇(+10cm)となる等時線[分]

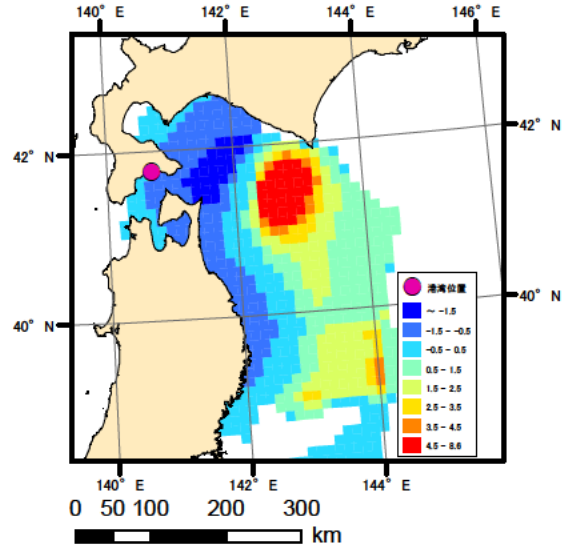
No. 経時変化図出力点（図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。）

進入時最大流〔knot〕

- 12 knot
- 8 knot
- 4 knot

○ 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を算出している。
○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

断層モデル



日本海溝（三陸・日高沖）モデル

モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断層モデルは、内閣府の「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会」で検討されたモデルである。

○ 本図の作成にあたっては、”津波解析支援GISシステム（ArcGIS 10 対応）”を使用した。
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
・海上保安庁が保有する水深データ
・国土交通省国土数値情報（ダウンロードサイト https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html （2021年8月2日取得））

作成機関　　　　　：海上保安庁
防災情報図作成年月：令和 3年11月 （初版）
地形データ作成年月：令和 3年 3月 （初版）